

ユニークさ競うミニ独立国

民族衣装で行進

「ユニークとパロディ」の神宮フェスティバルと銘打って全国ミニ独立国の国産サミット出雲会場が、一日間の日程で始まった。作家・井上ひさしの小説「五里千里」をきっかけに全国各地に盛んなミニ独立国が、各自治体の民族衣装を身にまとった國王や大統領が特産品を、また活性化策を胸に結集、東京サミット生進国産品展の向こうを張って話し合ふ。成果のほうは――。



いすゞオロチ王国の象徴オロチを足踏に、ユニークな民族衣装に身を包んだミニ独立国隊が練り歩いたパレード。出雲市今市町。

出雲サミット開幕

活性化策胸に43カ国 特産品のフェスティバルも

○…全国四十三カ国の「ミニ独立国」から、国産が参加したパレードは市民が詰め掛ける出雲市駅前を通過さへスタート。オロチ王国を象徴する長二千以上のオロチ子を足踏に、各国の民族衣装に身を包んだサミット参加国代表が市内を練り歩いた。

三百人が参加したパレードではオロチに各国の「國旗」が掲げた後、市内長浜、神戶川、今市の三小学校鼓隊がマーチを演奏し先導。各国の國王や女王は國の名を求め抜いた法被やアロハ衫、見守る市民に「おかしな手を振ったの、おかしな顔の観光サミットを祝うな」として「PR」する入。

○…神宮生進出展に集まった八百万を越えるの神々に、さきから、國ハズシの道重を、その百年前、先帝の三國二十カ國の首領は二十一人は、國引きの神様を祭る日笠市西園町の長徳神社でおられた神主と神事に参列。國王劇裏の壯大なロマンに思いをはせて、ミニ独立國運動の成功を祈願した。

神前に向かい、かしこ手をうつた面々は柔和な顔から、おほいを受け、神妙な面持ち。擔任理事國の大坂・そやんか合衆國の北浦浩大統領

「おほいおほい」の掛け声で、田の四神共、全國の神々の会議は独立國サミットの大先鋒。あやうく、実のある出展会議にしてやう。

○…出展生活センターでは、三國自慢の特産品を陳列した。秋田カエル村「はきりたんぽ、冬福庵」や、杉桐工、福島の太宰府天

「國」が「田」の四神共、全國の神々の会議は独立國サミットの大先鋒。あやうく、実のある出展会議にしてやう。

○…出展生活センターでは、三國自慢の特産品を陳列した。秋田カエル村「はきりたんぽ、冬福庵」や、杉桐工、福島の太宰府天